

# 希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 29 年 10 月 30 日 発行

第 23 号

編集発行 鈴木史良

## 研究授業で先生もパワーアップ

—— 大勢の先生方が見ている中、学びを深めた5年生たち ——

10月27日(金)の6校時に、前田隆吾教諭による研究授業をおこないました。研究授業とは、授業力の向上を図る教員の研修としておこなわれる授業です。事前に授業者の作成した授業案を本校の教員全員で事前に何度も検討し、この授業を迎えました。補習校の先生方の研修も兼ねた合同研修会として実施しました。

今回の教材は、小学校5年生国語「明日をつくるわたしたち」(光村図書)です。次期学習指導要領(2020年度完全実施)にうたわれているアクティブ・ラーニング(主体的で対話的な深い学び)で身につける学力を意識した、子どもたちが自分の考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こうとする授業です。

当日の授業は、前の授業までに作成した自分なりの案を全員発表し、どれが提案するにふさわしい案かを話し合いました。個々に発表する場面や話し合う場面で、根拠をもってわかりやすい発表ができたか、自分の意見ばかりでなく、友達の発表を聞いて相手の考えのよさが理解できたか、丁寧な言葉遣いで話し合うことができたか等々、子どもたちも課題をもって意欲的に学習に取り組みました。

日常生活をよりよくするためにそれぞれの子どもたちから発表された案は、子どもらしさにあふれ、とても興味があるものでした。以下に紹介いたします。

### ●話題「スイスの友達をつくろう」

理由……スイスに来ているのに友達がいないから。

現状と問題点……話す機会はあったが生かせていない。英語やドイツ語が話せない。勇気がない。

解決方法……英語のゲームをしたりして、英語になれて会話する。

### ●話題「刈りとった芝のかたづけをしよう」

理由……くつについた芝ですべりやすく危ないし、そのくつで教室に入ると汚れるから。

現状と問題点……芝が校庭のいたるところに散っている。

解決方法……中休み時間等に刈りとった芝を校庭の隅にかためる。



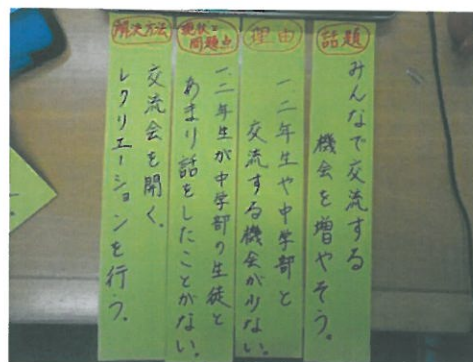
さあ、元気に授業のスタート!



根拠をもって話し合う子どもたち

- 話題「ポイ捨てタバコを少なくしよう」  
理由……空気が汚れるし、環境破壊や山火事などの原因になるから。  
現状と問題点……たばこのすいから入れに捨てず、道に捨てている。消火してない。  
解決方法……呼びかけをする。

- 話題「みんなで交流する機会を増やそう」  
理由……1、2年生や中学部と交流する機会が少ないから。  
現状と問題点……1、2年生が中学部の生徒とあまり話をしたことがない。  
解決方法……交流会を開く。レクリエーションをおこなう。



子どもの問題意識がまとめられた短冊

話合いの結論は次時にもち越されましたが、どの児童も根拠をもってはっきりと発表し、友達の意見のよいところを認めようとしていた姿が印象的でした。

## 中学2年生 職場体験学習を終えて

●ヒロ・タカハシパン工房では、清掃はなく、パン屋さんらしい仕事をさせてもらいました。どんな仕事をするときでも、工房で一緒に働く方々が作業のしかたを優しく丁寧に教えてくださいました。僕がいちばん印象に残っているのは、パンの袋詰めです。ふだんは何も考えずに開けているパンの袋一つひとつに、大切にパンが入れられていることを知りました。皆様にとっても温かく迎えていただき、楽しい時間を過ごすことができました。(男子)

●今回初めて、タカハシさんのお店に伺い、いろいろな体験をさせていただきました。ご家族のみなさんはとても優しく、良心的な方々でした。パンの袋詰め、買い物、パン生地づくりなどを体験して、みなさんはこんなたいへんな作業をずっとしていることに驚きました。私がパン生地を濾(こ)しているときのことです。「生地は必ずしも濾す必要はない。けれども、そのひと手間によって味はかなり変わる。」タカハシさんは、そうおっしゃっていました。労働とは、いろいろたいへんなことや面倒くさいことがあるかもしれませんが、それが成功に導くのだと、今回の体験でわかりました。(女子)



高橋さんとの懇談(打ち合わせ時)

## 北米欧州日本人学校校長研究協議会への出張

年に一度開催される校長研究協議会が、今年にはプラハで開催されます。明日31日(火)から4日(土)まで、校長が出張のため不在となりますので、ご連絡申し上げます。よろしくお願いたします。